様式第４号

佐賀市市民活動応援制度
補助金変更申請書

佐賀市長　様

平成 30 年 11 月 12 日

住所	佐賀市　〒849-0919 佐賀市兵庫北3丁目8番36号 ㈱佐賀市社会福祉協議会ほほえみ館内		
団体名	傾聴ボランティア佐賀・かたらい	団体番号	61
代表者　職・氏名	会長 吉木園枝 ㊞		

佐賀市市民活動応援制度補助金交付要綱第１１条の規定により、次のとおり申請します。

補助年度	30 年度	事業の名称	よい聴き手になるために
変更の理由	物品購入費減額のため		
補助事業の変更の内容	物品購入の費用が予算額よりも減ったことによる消耗品費の減額		
事業に要する経費	変更前	279,406	円
	変更後	296,182	円
補助対象経費	変更前	278,566	円
	変更後	272,982	円
変更後の交付申請額		181,988	円
添付書類	☑事業計画書 ☑事業スケジュール ☑収支予算書 ☐その他（　　）		

添付４－１（カラット）

事業計画書（変更）

団体名	傾聴ボランティア佐賀かたらい	事業名	よい聴き手になるために

事業の分野 ※主たる分野を１つ選んで、□で囲んでください	(1)保健・医療・福祉 (2)社会教育 (3)まちづくり (4)観光振興 (5)農山漁村・中山間地域振興 (6)学術・文化・芸術・スポーツ (7)環境の保全 (8)災害救援 (9)地域安全 (10)人権・平和 (11)国際協力 (12)男女共同参画 (13)子どもの健全育成 (14)情報化社会 (15)科学技術 (16)経済活動 (17)職業能力・雇用機会 (18)消費者の保護 (19)ＮＰＯ支援 (20)その他（　　）

事業内容	
目　的 ※１	(1)現状で課題や問題であると捉えていること ◦多くの市民の方が悩みをかかえて日々を過ごしている。 （子育てに悩むお母さん、独居の方、心の扉を開けてもらえず悩む福祉関係に従事する方々、隣人との人間関係、仕事上での同僚や上司との人間関係に悩んでいる方々。 ◦高齢社会を迎え寂しく不安な日々をすごす高齢者の増加に伴い認知症の方が増加している。
	(2)事業の目的 ※何のために行う事業かについて、「現状の課題を解決する方法」と、申請事業との関係をふまえながら記載してください。 ◦多くの市民の方に心を開いて話の出来る聴き方（傾聴）を学び回りの方に生きる勇気、元気を出してもらう。 ◦多くの市民に「認知症高齢者の対応」について学んでもらう。
受益対象者 ※１	※誰に対して行う事業かを記載してください。 佐賀市民

成果目標

※何をどのような状態にするか、できる限り数値目標を含め記載してください。

変更前 ※1

- 公開講座参加者 100名以上にする。
- 受講後のアンケートで「傾聴」「認知高齢者についての理解が深まった」と思う人を80%以上にする。又日常生活に生かそうと思う人を80%以上にする。

変更後

変更なし

成果目標の達成度の測定方法

※成果目標の達成度を測定する方法を、できる限り具体的に記載してください。

変更前※1

- 公開講座参加者名簿を作成する。
- 公開講座・傾聴講座のアンケートを作成する。

変更後

変更なし

実施体制 ※2

1　団体単独で実施する。

2　他の市民活動団体（　　）と協働、連携して実施する。

≪協働・連携の内容≫

③（佐賀市社会福祉協議会　）と協働、連携して実施する。

≪協働・連携の内容≫

佐賀市社会福祉協議会の協力を得て各校区社協、佐賀市福祉ボランティア協会等に紹介、チラシ配布した。

具体的な取組内容

※事業の主たる取り組みやイベントについて、日時や場所、参加人数なども含め、具体的に記載してください。
※講師については、外部講師・内部講師の区別及び選定理由を必ず記載してください。

変更前※1

◎公開講座　9月29日(土)（内容）よい聞き手になるために
（場　所）自治労会館（予定）・（参加者）100名
（外部講師）「日本ソーシャルコーチ協会理事」富岡郁左雄 氏
講師選定理由　富岡氏は2007年障がい者のコーチ育成を目的とするNPO法人を設立、2010年より理事長。高齢者支援のための傾聴ボランティア講座を各地で開催し、ボランティア派遣をされている事から本事業の目的、目標を達成するのに適任の講師である。

◎傾聴講座　9月29日(土)・30日(日)（内容）相手の心により添う聴き方
（場　所）自治労会館（予定）・（参加者）30名
（外部講師）「日本ソーシャルコーチ協会理事」富岡郁左雄 氏
（〃）佐賀県認知症介護指導員 宮島　優 氏
講師選定理由　宮島氏は平成3年特別養護老人ホームけやき荘に入職、平成15年に厚生労働省の養成する認知症指導者養成研修を終了、認知症の理解や地域での啓発のために佐賀県が主催する研修や市町村の実施する研修などの企画・運営に努力されてる。傾聴ボランティア佐賀・かたらいの傾聴ボランティア講座に第1回から関ってもらっているので講師として適任である。

<table>
<tr><td></td><td>変更後</td><td>変更なし</td></tr>
<tr><td rowspan="3">広報
計画
方法</td><td colspan="2">※市民の参加を呼びかけるための具体的な広報計画を記載してください。
※ポスターの掲示、チラシ等の配付を計画する場合は、設置予定箇所（配布予定箇所）、
配布予定枚数等を記載してください。
※テレビ、ラジオ、雑誌等の広報媒体を活用した広報を計画している場合は、広報媒体名、掲載予定時期等を記載してください。</td></tr>
<tr><td>変更前※1</td><td>・チラシ作成（公開講座・傾聴講座）カラー印刷 2000枚
・配布　各校区社協、民生児童委員会（各20）
各校区公民館、おたっしゃ本舗（各5）
アバンセ、市立図書館、市民活動プラザ、ほほえみ館（各20）
・広報　社協だより夏号、市報9月号掲載、新聞9月上旬（広告掲載）</td></tr>
<tr><td>変更後</td><td>変更なし</td></tr>
</table>

※1　交付申請書に記載した内容を記載してください。
※2　事業の実施体制に○をしてください。″2″または″3″で事業の実施を計画している場合は、() 内に具体的な協働・連携先を記載し、どういった部分を協働して実施する計画なのか、また、どういった役割分担で実施する計画なのか等を具体的に記載してください。
※　変更箇所と変更理由が分かるように、具体的に記載してください。

添付４－２

事業スケジュール（変更）

団体名	傾聴ボランティア伝奨かたらい	事業名	よい聴き手になるために

年月	実施項目		実施内容
30年4月	変更前	打合せ	会場予約などの確認
	変更後	変更なし	
30年5月	変更前	社協だより 講座開催掲載申込	社協だより夏号 掲載申込 （公開講座・傾聴講座） 8/1市報掲載申込・打合せ （傾聴講座掲載申込又は8月末）
	変更後	変更なし	
30年6月	変更前	チラシ掲載内容打合せ	チラシ掲載内容打合せ （公開講座・傾聴講座）
	変更後	変更なし	
30年7月	変更前	チラシ作成・印刷打合 8/1市報掲載申込	チラシ作成（カラー印刷）打合せ 印刷業社に依頼
	変更後	変更なし	
30年8月	変更前	各校区へチラシ配布 （民生児童委員会・公民館 社会福祉協議会）	各会員が協力して チラシ配布
	変更後	変更なし	
30年9月	変更前	講座資料印刷打合せ （アンケート含む） 公開講座 傾聴講座）開催	9月上旬新聞掲載申込 講座資料印刷・打合せ 9月29日(土) 公開講座開催 9月29日(土)30日(日) 傾聴講座開催
	変更後	変更なし	

※変更前の欄は、申請書と同じ内容を記載してください。
※取りやめる場合は、変更後の「実施項目」の欄に【取り止め】、【中止】等と記載してください。
※開催月等を変更する場合は、変更後の実施項目の欄に【○月に変更】と記載し、変更後のスケジュールについては、「年月」を記載し、変更後欄に「実施項目」及び「事業内容」を記載してください。
※変更がない場合は、変更後の「実施項目」の欄に【変更なし】と記載してください。
※時系列に沿って、時期が早い順にスケジュールを記入してください。

添付４－２

事業スケジュール（変更）

団体名	傾聴ボランティア仙台がたりい	事業名	よい聴き手になるために

年月		実施項目	実施内容
30 年10月	変更前	アンケート集計 ふり返り	今年度の反省
	変更後	変更なし	
年　月	変更前		
	変更後		
年　月	変更前		
	変更後		
年　月	変更前		
	変更後		
年　月	変更前		
	変更後		
年　月	変更前		
	変更後		

※変更前の欄は、申請書と同じ内容を記載してください。
※取りやめる場合は、変更後の「実施項目」の欄に【取り止め】、【中止】等と記載してください。
※開催月等を変更する場合は、変更後の実施項目の欄に【○月に変更】と記載し、変更後のスケジュールについては、「年月」を記載し、変更後欄に「実施項目」及び「事業内容」を記載してください。
※変更がない場合は、変更後の「実施項目」の欄に【変更なし】と記載してください。
※時系列に沿って、時期が早い順にスケジュールを記入してください。

添付４－３（カラット）

収支予算書（変更）

団体名	化粧聴ボランティア恒賀かたらい	事業名	よい聴き手になるために

【支出の部】

予算項目（区分）		事業に要する経費	事業に要する経費のうち補助対象経費
報償費	変更前	120,000 円	120,000 円
	変更後	120,000 円	120,000 円
旅費	変更前	6,960 円	6,120 円
	変更後	8,920 円	6,120 円
消耗品費	変更前	7,690 円	7,690 円
	変更後	25,398 円	4,998 円
印刷製本費	変更前	37,980 円	37,980 円
	変更後	38,144 円	38,144 円
食糧費	変更前	1,000 円	1,000 円
	変更後	1,000 円	1,000 円
通信費、手数料等	変更前	59,076 円	59,076 円
	変更後	57,220 円	57,220 円
使用料及び賃借料	変更前	46,700 円	46,700 円
	変更後	45,500 円	45,500 円
人件費	変更前	円	円
	変更後	円	円
原材料費	変更前	円	円
	変更後	円	円
その他	変更前	円	円
	変更後	円	円
支出合計	変更前	279,406 円	278,566 円
	変更後	① 296,182 円	(A) 272,982 円

※変更がない場合は、「変更前」の欄と「変更後」の欄のそれぞれに申請書に記載した額を記入すること。

【補助金対象額】

（A）×２/３以内（上限 30 万円） 又は交付決定額のいずれか低い額	(B) 181,988 円

【収入の部】

予算項目（区分）		事業に係る収入額	内　訳	
佐賀市市民活動応援制度補助金	変更前	185,710 円		
	変更後	(B) 181,988 円		
事業収入	変更前	90,000 円	参加費 3,000円×30人	
	変更後	71,400 円	チラシ代 1,200円×17＝20,400 参加費 3,000円×17＝51,000	
他の補助金等	変更前	円	(名称)	
	変更後	円	(名称)	
自主財源	変更前	3,696 円	□会費・寄附・協賛金	円
			□その他	円
	変更後	42,794 円	☑会費・寄附・協賛金	円
			□その他	円
収入合計	変更前	279,406 円		
	変更後	(C) 296,182 円		

※変更がない場合は、「変更前」の欄と「変更後」の欄のそれぞれに申請書に記載した額を記入すること。

【収支差額】

変更後の収入合計		変更後の支出合計		収支差額
(C) 296,182 円	−	① 296,182 円	＝	(D) 0 円

※当該事業に係る変更後の収入合計（C）が変更後の支出合計①を上回る場合は、その差額を補助金の額から控除する。

【補助金交付変更申請額】

補助金対象額　収支差額 （B）　−　（D）	＝	補助金交付変更申請額 (E) 181,988 円

※【支出の部】「事業に要する経費のうち補助対象経費」の内訳

予算項目（区分）		「事業に要する経費のうち補助対象経費」の内訳 （積算根拠：品名、単価、数量等）	（金額）
報償費	変更前	講師謝金（外部）公開講座 金岡有加里 ④10,000×2 （外部）他機関講座 富田有加里 ④10,000×2 （外部） 〃 宮島 優 ④10,000×3	20,000 20,000 30,000
		合計 120,000 円	
	変更後	変更なし	
		合計 120,000 円	
旅費	変更前	講師旅費 福岡－佐賀 3,060×2回	6,120
		合計 6,120 円	
	変更後	変更なし	
		合計 6,120 円	
消耗品費	変更前	ファイルケース（受講生用および30円）220×30 封筒代（A4入り）④320×2 A4コピー用紙	6,600 640 450
		合計 7,690 円	
	変更後	ファイルケース ④198×20＋316（消費税） 封筒代 ④108円 A4コピー用紙代 ④407×1＋④162×1＋45（消費税）	4,276 108 614
		合計 4,998 円	
印刷製本費	変更前	公開講座・他機関講座チラシ（2000枚） 公開講座たれ幕代 資料印刷代，原稿50×5=250，印刷0.5×500=250	33,480 4,000 500
		合計 37,980 円	
	変更後	公開講座・他機関講座チラシ（2000枚） 公開講座たれ幕 プリント代 1枚 講座受付等印刷（¥4/4 フルカラー用，¥360 モノクロ用） 「印刷（受講者用）（¥10×15枚）×2（裏・表）	33,480 3,750 614 300
		合計 38,144 円	
食糧費	変更前	講師弁当 ④500×2日分	1,000
		合計 1,000 円	
	変更後	変更なし	
		合計 1,000 円	

※記入枠の行幅は内容に合わせて変更してください。
※対象経費の内訳の欄は、積算根拠を記入してください。
※変更前の欄は、申請書に記入した補助対象経費の内訳を記載すること。変更がない場合は、変更後の欄に「変更なし」と記入してください。
※講師謝金を計上する場合は、外部講師・内部講師の区別を必ず記載してください。

※【支出の部】「事業に要する経費のうち補助対象経費」の内訳

予算項目（区分）		「事業に要する経費のうち補助対象経費」の内訳 （積算根拠：品名、単価、数量等）	（金額）
通信費、手数料等	変更前	新聞広告代 新聞広告代振込料 ハガキ（受講生返信用）@62×30 切手（受講生への案内状送付）@82×30	54,000 756 1,860 2,460
		合計	59,076 円
	変更後	新聞広告料（9/5分、9/27分） 新聞広告振込料 340円 ハガキ@62×20（受講生返信用） 切手代@82×20（受講生への案内状送付）	54,000 340 1,240 1,640
		合計	57,220 円
使用料及び賃借料	変更前	公開講座 会場代 自治労会館大会議室 修聴講座 会場代 自治労会館（29日・30日分）（16,500×2） 市民活動プラザ会議室使用料（3時間×2）	12,500 33,000 1,200
		合計	46,700 円
	変更後	公開講座 会場代 自治労会館大会議室 修聴講座 会場代 自治労会館中会議室	12,500 33,000
		合計	45,500 円
人件費	変更前		
		合計	円
	変更後		
		合計	円
原材料費	変更前		
		合計	円
	変更後		
		合計	円
その他	変更前		
		合計	円
	変更後		
		合計	円
支出合計	変更前	278,566	円
	変更後	272,982	円